

平成 17 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社 東 和 銀 行
代 表 者 名 取締役 頭 取 増 田 熙 男
(コト 番号 8558 東証第一部)
問 合 せ 先 財 務 経 理 部 長 田 村 盛 司
TEL (027) 234 - 1111

平成 18 年 3 月 期 中 間 期 業 績 予 想 の 修 正 並 び に 有 価 証 券 評 価 損 に 関 す る お 知 ら せ

1. 業 績 予 想 の 修 正

平成 17 年 5 月 27 日 の 決 算 発 表 時 に 公 表 し た 平 成 18 年 3 月 期 中 間 期 業 績 予 想 を 以 下 の と お り 修 正 い た し ま す 。

(1) 単 体 業 績 予 想 の 修 正

平成 18 年 3 月 期 中 間 期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	18,500	1,500	500
今回修正予想 (B)	18,780	620	1,090
増減額 (B - A)	280	880	590
増減率	1.5	58.7	118.0
前中間期実績 (平成 16 年 9 月 期)	19,028	819	853

(2) 連 結 業 績 予 想 の 修 正

平成 18 年 3 月 期 中 間 期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	22,000	1,550	850
今回修正予想 (B)	21,790	830	1,400
増減額 (B - A)	210	720	550
増減率	1.0	46.5	64.7
前中間期実績 (平成 16 年 9 月 期)	22,040	855	803

(3) 業 績 予 想 修 正 の 理 由

経常利益は、当初予想に見込んでいなかった株式減損額が 11 億円発生したため修正となりました。中間純利益は、固定資産の減損損失が予想を 11 億円下回ったものの繰延税金資産を 8 億円取崩したため修正となりました。

連結業績は、銀行単体の業績修正の影響を受けたものです。

(注)平成 18 年 3 月 期 通 期 の 業 績 予 想 に つ き ま し て は、現 在 算 定 中 で あ る た め 中 間 決 算 発 表 時 に お 知 ら せ し ま す 。

2. 平成 18 年 3 月期中間期末の有価証券評価損

当行では、「その他有価証券」について、金融商品の時価会計基準により、簿価に比べ時価あるいは実質価額が著しく低下した銘柄につき減損処理を行っております。

このたび、平成 18 年 3 月期中間期末における有価証券評価損(減損処理額)を算出しました結果、次のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

平成 18 年 3 月期中間期末の有価証券評価損の総額 (A)	1,156 百万円
平成 17 年 3 月期の純資産額 (B)	63,805 百万円
(A / B) × 100	1.8%
平成 17 年 3 月期の経常利益額 (C)	3,661 百万円
(A / C) × 100	31.6%
平成 17 年 3 月期の当期純利益額 (D)	2,481 百万円
(A / D) × 100	46.6%

(ご参考)

1. 当行の中間決算期末は、9 月 30 日であります。
2. 減損処理基準の概要は次のとおりです。
期末の時価が簿価に比べて 50%以上下落した銘柄は全て減損処理
期末の時価が簿価に比べて 30%以上 50%未満下落した銘柄は回復可能性なしと判断したものを減損処理
3. 上記減損処理後の「その他有価証券」の評価差額(含み益)は 8,439 百万円であります。

以 上